

— 授業の様子（複式低学年） —

【座席】

「コの字」型の座席を基本にしています。教師は、両学年の学習の様子を把握するために、真ん中（扇形の要にあたる部分）に立ちます。こうして、いつでも臨機応変に支援に入れるようにしています。



【板書】

学習リーダー（日直：輪番制）が、板書をしながら話し合い、学びを進めていきます。1年生から徐々に学習リーダーが板書する機会を増やしていき、自分たちで学習を進めていける力をつけていきます。



【漢字先生の取り組み】

新出漢字の学習は、児童が主体的に進めます。それぞれの漢字を、担当する児童が、筆順・絵画数・形・読み・その漢字を使った言葉について予習しておき、全員に説明します。それから、個別に漢字ノートに練習します。見通しを持って事前の準備を進める意識が育っていきます。



【話し合い】

何を話し合うかテーマを明確にし、児童が考えを述べる場が多々あります。複式学級では教師がつかないこともあるため、学習リーダーが、みんなの考えや意見を黒板やホワイトボードに残すようにしています。教師はそれを見ることで話し合いの流れを把握することができ、適切なタイミングで支援に入ります。また、学習リーダーは板書を参照することで、みんなの考えを自分の言葉でまとめて伝えやすくなります。



— 授業の様子（複式中学年） —

【ホワイトボードの活用】

複式学級は少人数であることから、全員の考えを学習の土俵にあげることができます。ホワイトボードに書くことで、多様な表現方法で自分の考えを書く力が身についていきます。その後、友達の考えと比較したり、考えの種類分けをしたりして、共通点や相違点を明確にします。そうすることにより、自力解決を集団解決の場にしていきます。



【ipad の活用】

外国語活動での ipad 活用の様子です。自分の話している様子を録画し、見返すことで、自分のよいところや課題を確認しながら、発表の練習を行っています。また、ペアやグループで録画したものを見合うことで、友達の姿からの学びを自分のパフォーマンスへとつなげていきます。



【学習ガイド】

学習ガイドとは、教師が時系列に順番に学習活動を書いたものであり、本校では、日直が学習ガイドを参考にしながら学習を進めていきます。低学年では、全員で声に出して確認しながら、学習を進めています。学年があがるにつれ、具体的で丁寧なものから、短く端的なものへと変化させていきます。

分数 7月16日

めあて 分数のひき算はどのようにするか考えよう。

- 1 今日の問題とめあての確認
- 2 先生の話
- 3 ひとりて
- 4 みんなで
- 5 まとめと振り返り
- 6 96ページの4・5をとり、答え合わせ

朝の会までの時間に、学習ガイドを見ながら、日直と教師でその日に行われる授業の打ち合わせを行います。子どもとの打ち合わせの中で、子どもたちのアイデアを大切にしながら、ガイドを柔軟に変更しています。

— 授業の様子（複式高学年） —

【これまでの学習の集大成】

子ども達同士が信頼し合い、あたたかい雰囲気の中で学習を進めていきます。全員が学習リーダーを経験できることも、一人一人の児童の様子がよくわかり個別の支援をしやすいことも複式の良さです。



学習内容に引きつけられ、新たな発見を求めて友達と関わり合いながら夢中で探究する、頼もしい姿が見られます。異学年が教室にいること、少人数であることを最大限に生かした指導を展開していきます。



【教室掲示の工夫】

複式高学年として、複式縦割り遊びの内容を見に来るなど、複式低学年や中学年の児童が高学年の教室に足を運びたくなるように意識しています。



— 生活の様子（縦と横のつながり） —



たんぼぼ集会

それぞれの学級が企画し、1年生を迎える会や6年生を送る会などを主体的に運営しています。複式学級全体で集会を行うことで、所属感を高めています。

複式縦割り遊び

複式高学年の企画で、毎週複式縦割り遊びを行い、複式の仲を深めています。



絵本の読み聞かせ

低学年のみんなに喜んでもらえるように、絵本を選んで読み聞かせを行います。

特別支援学級との交流

それぞれの学年で、定期的に特別支援学級と交流しています。

